TAD

TAD-D600

DISC PLAYER

OWNER'S MANUAL

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

SUPER AUDIO CD

安全上のご注意

● 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
● ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。 内容をよく理解してから本文をお読みください。	⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

記号は注意 (警告を含む) しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容 (左図の場合は感電注意) が描かれています。

⃠ 記号は禁止 (やってはいけないこと) を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け) が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して感電や発熱による火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。
- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  - → あおむけや横倒し、逆さまにする。
  - → 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
  - → じゅうたんやふとんの上に置く。
  - → テーブルクロスなどをかける。
- 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。
- 本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用環境

- この機器に水が入ったり、ぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト 50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災･感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（ＤＣ）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

- 電源プラグを抜くときはプラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災･感電の原因となります。
- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 本機のディスクトレイ部などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。
- 雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のケーブルを使用してください。
- 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

使用方法

- ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
- レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
- お子様が、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。
- 音が歪んだ状態で長時間使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。
- 旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

保守・点検

- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

愛情点検

長年ご使用のオーディオ機器の点検を!

このような症状はありませんか		➡	ご使用中止	
このような症状はありませんか	・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。	➡	ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

使用上のご注意

設置する場所

- 組み合わせて使用するステレオシステムの近くの、安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に TAD-D600 を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

TAD-D600 を末永くご愛用いただくために、次のような場所には設置しないでください

- 直射日光のあたる所。
- 湿気の多い所や風通しの悪い所。
- 極端に暑い所や寒い所。
- 振動のある所。
- ホコリやタバコの煙の多い所。
- 油煙、蒸気、熱があたる所 (台所など)。

上に物をのせない

TAD-D600 の上に物をのせないでください。

熱を受けないように

TAD-D600 をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

TAD-D600 を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、TAD-D600 の電源を入れたままテレビをつけると画面が乱れる場合がありますが、TAD-D600 やテレビの故障ではありません。このような場合は TAD-D600 の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

TAD-D600 を移動する場合

TAD-D600 を移動する場合は必ずディスクを取り出し、ディスクテーブルを閉じてください。さらにリモコンの **DISC PLAYER ボタン ⏻** を押し、表示窓の **[-OFF-]** 表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたまま、リモコンの **▲ OPEN/CLOSE ボタン**を押してディスクトレイを開けないでください。ディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因になります。

TAD-D600 のお手入れ

TAD-D600 の清掃は、付属のポリシングクロスでから拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を 5 ～ 6 倍に薄めた水に柔らかい布を浸し、よく絞ったあと、汚れを拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品を用いるとパネルの表面が侵されることがありますので使用しないでください。またスプレー式の殺虫剤などを TAD-D600 の近くでは使用しないでください。化学ぞうきん等をお使いの場合は、化学ぞうきん等に添付の注意事項をよくお読みください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、TAD-D600 を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは TAD-D600 は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、TAD-D600 の電源を入れて 1 ～ 2 時間放置し、TAD-D600 の温度を室温に保てば水滴が消えて、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、TAD-D600 に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は TAD-D600 の設置場所を変えてください。

注意

この製品は、レーザ製品の安全基準 IEC 60825-1 : 2007 規格の基で評価されたクラス 1 レーザ製品ですが、内部にはクラス 1 のレベルを超える危険なレーザ放射があります。分解や改造などは絶対に行わないでください。

クラス 1 レーザ製品

危険なレーザ放射に接する恐れのある部分には、以下の注意文表示があります。

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN, AVOID EXPOSURE TO THE BEAM.
ATTENTION	RADIATIONS LASER VISIBLES ET INVISIBLES DE CLASSE 3B QUAND OUVERT. ÉVITEZ TOUT EXPOSITION AU FAISCEAU.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDSÆTTELSE FOR STRÅLING.
VARNING	KLASS 3B SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. UNDVIK ATT UTSÄTTA DIG FÖR STRÅLEN.
VORSICHT	BEI GEÖFFNETER ABDECKUNG IST SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG DER KLASSE 3B IM GERÄTEINNEREN VORHANDEN. NICHT DEM LASERSTRAHL AUSSETZEN!
PRECAUCIÓN	CUANDO SE ABRE HAY RADIACIÓN LÁSER DE CLASE 3B VISIBLE E INVISIBLE. EVITE LA EXPOSICIÓN A LOS RAYOS LÁSER.
VARO!	AVATTAESSA OLET ALTTIINA NÄKYVÄLLE JA NÄKYMÄTTÖMÄLLE LUOKAN 3B LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.
注意	打開時會有CLASS 3B可見和不可見鐳射輻射，請勿受鐳射束輻射。
注意	ここを開くと CLASS 3B の可視レーザ光及び不可視レーザ光が出ます。ビームを直接見たり、触れたりしないこと。

D58-5-2-2b*_A1_Ja

もくじ

はじめに

所有する喜びと誇り、聴く歓びと感動のために

「TAD」という名称は“Technical Audio Devices”の頭文字から命名されました。
これは、1975 年にパイオニア（株）において最高級スピーカー開発プロジェクトの発足時、技術顧問として参画し、当時 USA プロオーディオ界の第一人者であった故バート・ロカンシーの「基本に忠実な技術こそ本物の技術であり、技術志向に傾くことなく、常に音質を最重視する技術こそ本物の技術である」という理念に基づく、“綿密な理論検討と正確な実験に裏付けられた工学的アプローチ”の手法を表現したものです。
自らのスピーカー理論を実践するための新境地を見出したバート・ロカンシーと、その思想と哲学を受け継ぐエンジニアたちの、決して妥協を許さぬ技術への探究心が、「TAD」という存在そのものなのです。
この「TAD」の意思を受け継ぎ、TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC. は設立されました。
私たちは、当社の持つ最高の技術で、皆様へ聴く歓びと感動を提供していきたいと考えています。

主な特長

超高 C/N* マスタークロック UPCG** を搭載

従来より、高音質化のためマスタークロックはトータルジッター量の低減に注力されてきましたが、ＴＡＤラボでは特に中心周波数に対するサイドバンドの低い周波数におけるジッターの低減に着目し、UPCG を開発しました。
高速デジタル通信基地局などで使用される技術手法をベースに、ディスクプレーヤーに要求される性能を極めた専用発振器による高純度マスタークロックがディスクに刻まれた信号の再現性を極限まで高めています。

* C/N：搬送波対雑音比（Carrier to Noise ratio）
** UPCG：Ultra high Precision Crystal Generator

並列接続差動型 D/A コンバーター

バーブラウン製 D/A コンバーター（192 kHz/24 bit）を並列接続で使用し、S/N 比、リニアリティ、ダイナミックレンジ、歪率などのオーディオ性能の向上に貢献しています。これにより、微小な音楽信号までも再生でき、より開放的な音楽を再現します。

独立電源部

TAD-D600 は、電源部を独立筐体としています。本体部から分離することで、メカやオーディオ回路への電源部からの不要振動、漏洩磁束の悪影響を排除しています。さらに、オーディオ用の電源トランスには 400 VA というパワーアンプ並みの超強力トロイダルトランスを搭載、いかなる信号にも追従する高い応答性能を誇り、力強さとローノイズの両立を実現しています。

高剛性低重心構造

外部からの振動の影響を抑えるために３点支持の鋳造アルミニウムによる高剛性シャーシを採用しました。重量のある極厚ベースを下部に配置することで低重心構造とし、更なる振動制御を実現しています。これによりスピーカーからの音圧等の振動に対して非常に安定した再生を可能にしています。

DAC モード

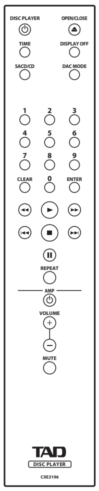
高精度 D/A コンバーターと超高純度マスタークロック発振器を持つ TAD-D600 は D/A コンバーターユニットとしても高い性能を発揮します。サンプルレートコンバーターを搭載し、超高純度マスタークロックでリクロックを行うことで、高精度変換が可能です。

お使いになる前に

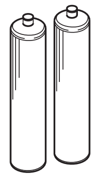
付属品の確認

アクセサリーボックスの中に、以下のものが入っていることを確認してください。

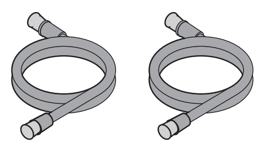
● リモコン× 1



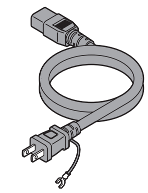
● 単４形乾電池（IEC R03）× 2



● DC コード（75 cm）× 2

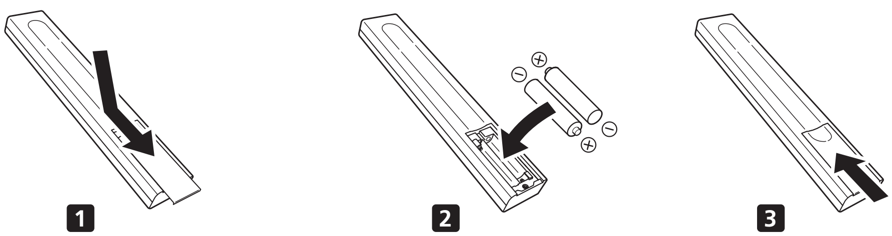


● 電源コード× 1



● ポリシングクロス× 1
● フェルト× 2
● オーナーズクラブ登録カード× 1
● 個人情報保護シール× 1
● 保証書× 1
● 取扱説明書 (本書)

リモコンに電池を入れる



リモコンの操作範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

⚠ 警告

● 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

⚠ 注意

電池を誤って使用すると、液漏れしたり破裂する危険性があります。以下の点について特にご注意ください。
● 新しい電池と古い電池、また、種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
● 乾電池のプラスとマイナスの向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
● 電池は単４型マンガン乾電池（R03）または単４型アルカリ乾電池（LR03）を使用してください。
● 長い間（1 カ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
● 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

再生できるディスクの種類

下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

SACD　CD　CD-R　CD-RW

SUPER AUDIO CD　COMPACT disc DIGITAL AUDIO　COMPACT disc Recordable　COMPACT disc ReWritable

"Super Audio CD"は登録商標です。

SACD の再生について

SACD は 2 ch のみ再生可能です。

コピーコントロール CD について

当製品は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

DualDisc の再生について

「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
DVD 面ではないオーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

TAD-D600 は音楽 CD フォーマットの音楽データが記録された CD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起こることがあります。
TAD-D600 は再生専用機です。CD-R/CD-RW ディスクに録音することはできません。
ファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。
※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

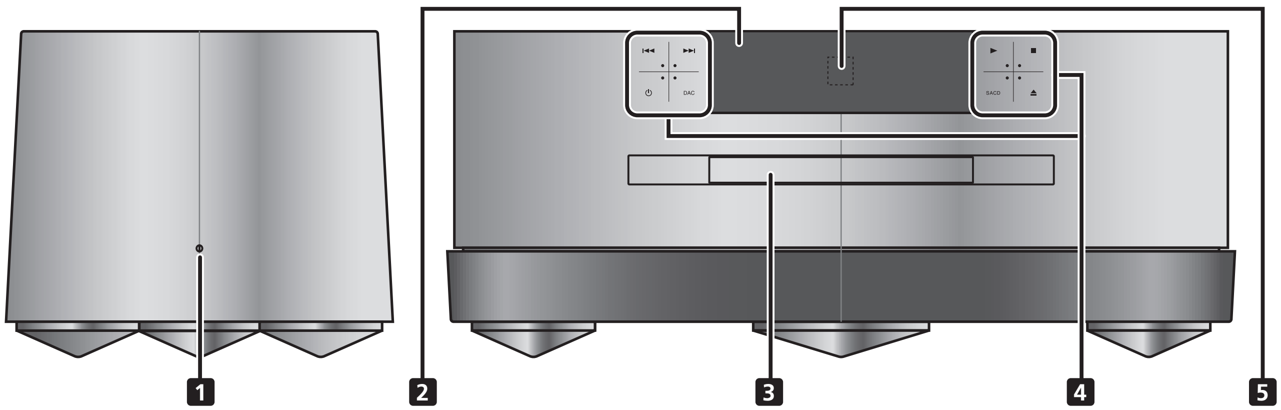
- レコーダー、またはパソコンで記録した CD-R/CD-RW ディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。

TAD-D600 で再生できないディスクの種類

BD、BD-ROM、DVD、CD-G、ビデオ CD、8 cm CD

各部の名称とはたらき

電源部前面 / 本体部前面



1 **POWER インジケーター**
電源がスタンバイ（待機状態）時は赤色に点灯、オン時にはオレンジ色に点灯します。

2 **表示窓**
TAD-D600 のさまざまな動作の状態を表示します。

3 **ディスクトレイ**

4 **タッチセンサー / アクションインジケーター**
文字やマークの中央部分を触れて操作します。
タッチセンサーを操作したときは、アクションインジケーターが点灯します。
⏮ － 再生中の曲の始めに戻ります。
⏭ － 次の曲に進みます。
⏻ － 電源をオン / スタンバイ（待機状態）にします。
インジケーターはスタンバイ時は赤色、オン時はオレンジ色に点灯します。
DAC － デジタル外部入力に切り換わります。
▶ － 再生します。再生中に押すと、一時停止になります。
■ － 再生を停止します。
SACD － ハイブリッドディスクの再生エリアを切り換えます。
インジケーターは SACD 挿入時、および SACD/CD ハイブリッドディスクの SACD 層の選択時に点灯します。
⏏ OPEN/CLOSE － ディスクトレイを開閉します。

5 **リモコン受光部**
約 7 m 以内の距離からリモコンをここに向けて操作します。

⚠ 注意

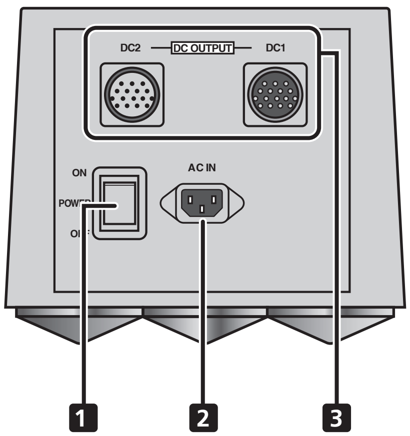
電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。本機を電源コンセント近くに設置し、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くようにしてください。

メモ

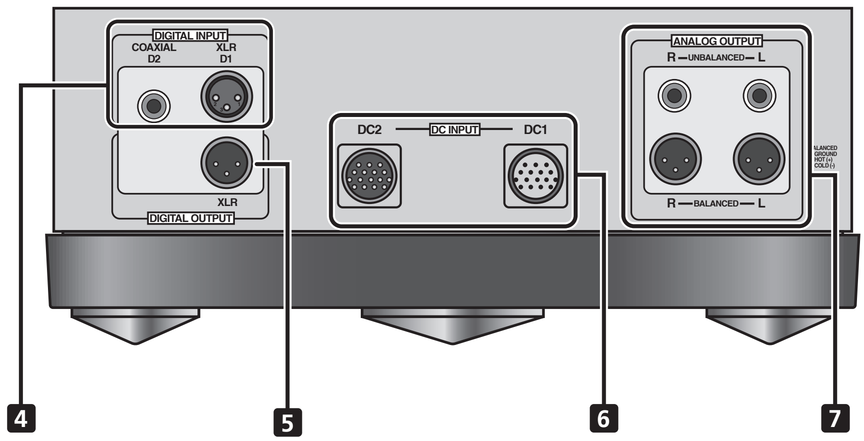
ディスクを停止すると、リピート再生は解除されます。

電源部背面 / 本体部背面

電源部



本体部



1　主電源スイッチ（POWER ON/OFF）
　主電源のオン / オフを行います。上側を押すと電源がオンし、リモコン、または本体の ⏻ **ボタン**でスタンバイ / オン操作ができるようになります。下側を押すと電源がオフします。

2　AC IN 端子
　付属の電源コードを接続します。

3　DC (DC 1/DC 2) OUTPUT 端子
　付属の DC コードを接続し、本体部と接続します。

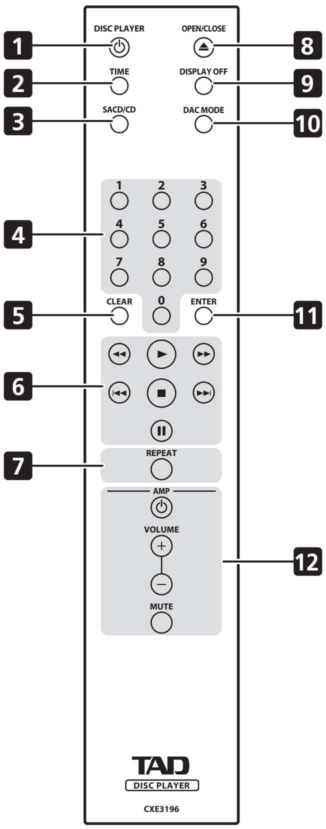
4　DIGITAL INPUT 端子
　デジタル出力端子を持つ機器に接続します。
- XLR（バランス）タイプ (D1)
- COAXIAL（同軸）タイプ (D2)

5　DIGITAL OUTPUT 端子
　デジタル入力端子を持つ機器に接続します。
- XLR（バランス）タイプ

6　DC (DC 1/DC 2) INPUT 端子
　付属の DC コードを接続し、電源部と接続します。

7　ANALOG OUTPUT 端子
　プリアンプに接続します。
- RCA UNBALANCED（アンバランス）タイプ
- XLR BALANCED（バランス）タイプ

リモコン



1　**DISC PLAYER ⏻ ボタン**
電源をオン / スタンバイ（待機状態）にします。

2　**TIME ボタン**
ディスクの経過時間や残量などを表示します。ボタンを押すたびに、**「曲の残り時間表示」**/**「ディスク全体の残り時間表示」**/**「経過時間表示（通常表示）」**が切り換わります。

3　**SACD/CD ボタン**
ハイブリッドディスクの再生エリアを切り換えます。ボタンを押すたびに、**「CD エリア」**と**「SACD エリア」**が切り換わります。

4　**数字ボタン**
聞きたいトラックを指定して再生したいときに使います。数字ボタンで選択して **ENTER ボタン**を押します。

5　**CLEAR(クリア) ボタン**
選んだ項目を取り消します。番号の入力を間違えたときなどに使います。

6　**再生操作ボタン**
► － ディスクを再生します。
■ － ディスクを停止します。
❚❚ － 音声を再生中に押すと、音声が一時停止します。もう一度押すと通常の再生に戻ります。
◄◄ － 再生中、音声の早戻しをします。
❙◄◄ － 現在再生中のトラックの始めに戻ります。
►► － 再生中、音声の早送りをします。
►►❙ － 次のトラックの始めに送ります。

7　**REPEAT (リピート) ボタン**
ボタンを 1 回押すごとにリピート再生モードが変わります。

→一曲リピート → 全曲リピート → リピート解除 →（一曲リピートへ戻る）

曲を繰り返し再生します。

8　**⏏ OPEN/CLOSE ボタン**
ディスクトレイを開閉します。

9　**DISPLAY OFF ボタン**
本体表示窓を消灯させるときに使用します。

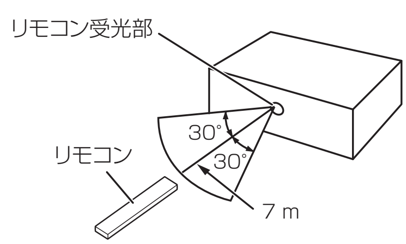
10 **DAC MODE ボタン**
DAC モードに切り換わります。押すたびに、**「D1 入力（XLR）」**/**「D2 入力（同軸）」**/**「ディスク再生モード」**が切り換わります。

11 **ENTER(決定) ボタン**
設定 / 選択した項目を実行します。

12 **アンプ操作ボタン**
リモコン機能のついた TAD 製アンプを操作することができます。
AMP ⏻ － アンプの電源を入れる / スタンバイ（待機状態）にします。
VOLUME － 音量を調整します。
MUTE － 消音します。

リモコンの操作範囲

TAD-D600 をリモコンで操作するときは、下図の範囲内でリモコンを前面のリモコン受光部に向けてください。



- リモコン受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができないことがあります。
- 赤外線を出す機器の近くで TAD-D600 を使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、機器によっては誤動作することがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に直接当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。

設置

⚠ 警告

- 設置する場所はこの機器重量に十分耐えられる強度のある、安定した水平・平面な場所をお選びください。倒れたりして、事故の原因になります。

⚠ 注意

本機を設置する場合には、壁から 10 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本機の天面から 10 cm以上、背面から 10 cm以上、側面から 10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本機の使用環境温度範囲は5 ℃～35 ℃、使用環境湿度は85 %以下です。
風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光（または人工の強い光）の当たる場所に設置しないでください。
D3-4-2-1-7c_Ja

設置上のご注意

- TAD-D600 の脚は、電源部、本体部ともに 3 点支持のスパイクタイプになっているため、設置面にキズがつく恐れがあります。キズつきを防ぐためには、付属のフェルトを敷いてから設置することをお勧めします。

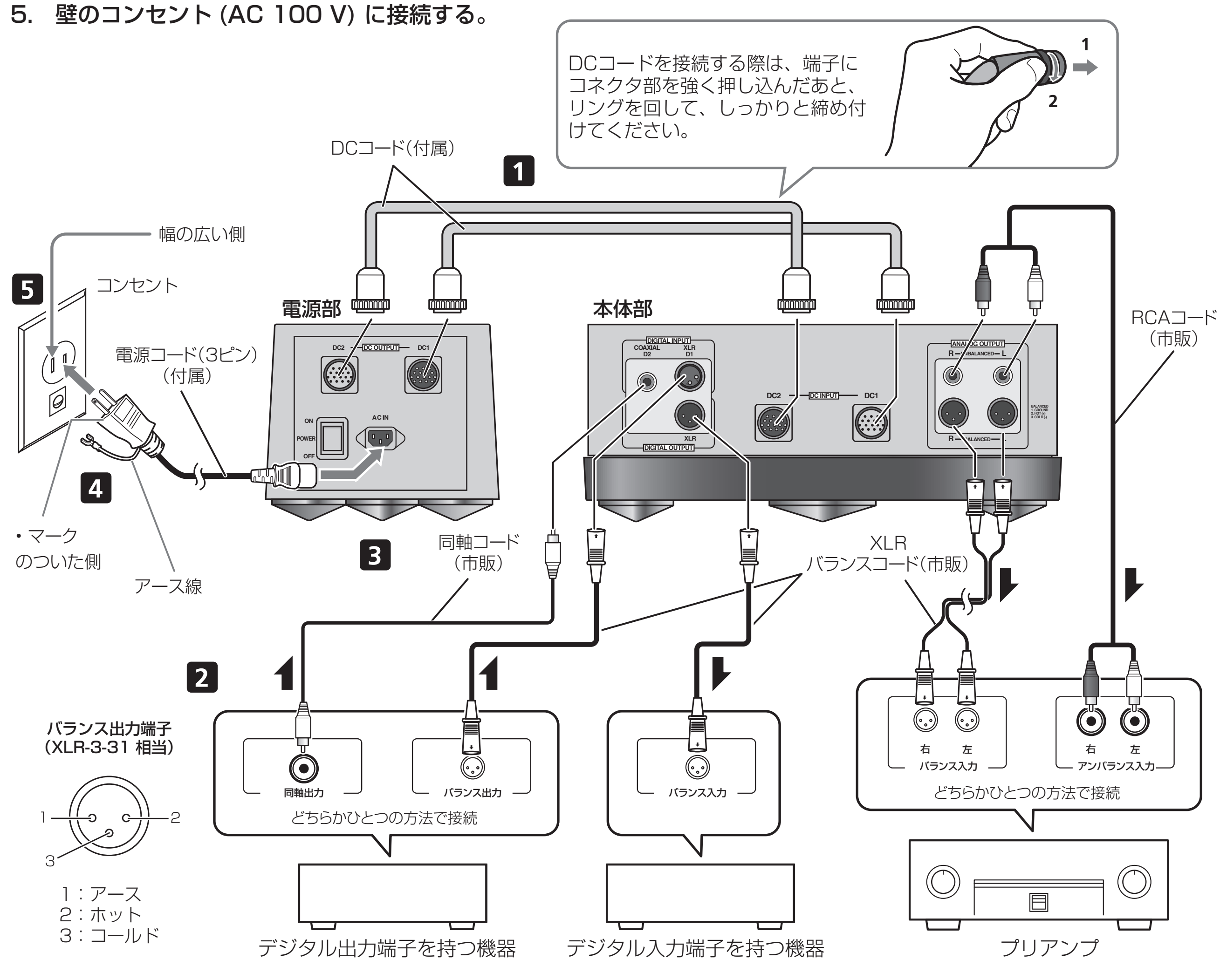
接続

⚠ 注意

- TAD-D600 および各コンポーネントの電源スイッチは、接続がすべて終わるまで、オンにしないでください。
- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。 電源コードは最後に接続してください。
- 電源コンセントにアース端子がない場合は、販売店、工事業者等に工事を依頼してください。

> **⚠ 警告**
> - **アース接続は必ず、主電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。**
> - **アース線は、絶対に電源コンセントに挿入しないでください。**

1. **本体部と電源部を付属の DC コードを使って接続する。**
2. **各機器を接続する。**
3. **付属の電源コードを TAD-D600 の AC IN 端子に接続する。**
4. **アース接続をする。**
5. **壁のコンセント (AC 100 V) に接続する。**

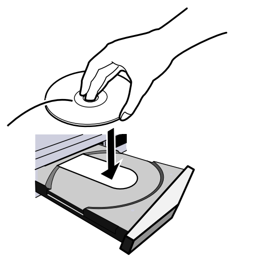


ディスクの再生と取り扱い

ディスクを再生する

TAD-D600 でディスクを再生するには、以下の手順で操作します。

1. **電源部の電源スイッチがオンの状態であることを確認し、本体前面の ⏻ ボタン（またはリモコンの DISC PLAYER ⏻ ボタン）を押して、電源を入れる。**
   電源部前面の POWER インジケーターがオレンジ色に点灯していることを確認してください。
2. **⏏ OPEN/CLOSE ボタンを押す。**
   ディスクトレイにディスクをセットする。
   ディスクをセットしたら、**⏏ OPEN/CLOSE ボタン**を押してディスクトレイを閉めてください。
3. **► 再生ボタンを押す。**
   ディスクの再生を開始します。
   - 一時停止するには、再生中に **❚❚ 一時停止ボタン**を押します。
   - 停止するには、再生中に **■ 停止ボタン**を押します。
   - 電源をオフ（スタンバイ状態）にするには、**本体前面の ⏻ ボタン（またはリモコンの DISC PLAYER ⏻ ボタン）**を押します。

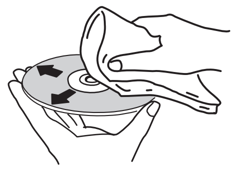


ディスクの取り扱いかた

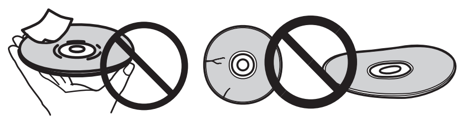
保管

● 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光のあたる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
● ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクの取り扱い



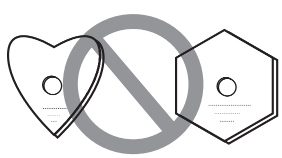
● ディスクに指紋やホコリが付くと、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。
● ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
● 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
● 損傷のあるディスク (ひびや反りのあるディスク) は使用しないでください。
● ディスクの信号面に傷や汚れを付けないでください。
● ディスクに紙やラベル用シールなどを貼り付けないでください。ディスクが反って、不具合が発生する恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。



● ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。

外径１２ ｃm以外のディスクについて

● TAD-D600 では、外径１２ ｃmの丸いディスクのみ再生できます。特殊な形のディスク (ハート型や六角形など) や 8 cm ディスクは故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。



レンズのクリーニングについて

● レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びすることがあります。このような場合は、**「保証とアフターサービス」(P.18)** をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

ディスクの結露について

● 冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります (結露)。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

設定をする

省エネ機能を使う

TAD-D600 は、お買い上げ時には 30 分間使用していない場合、自動的にスタンバイ状態になる **ECO ON**（省エネモード）に設定されていますが、以下の操作で省エネ機能の切り換えが行えます。

1. **本体前面の ⏻ ボタン（またはリモコンの DISC PLAYER ⏻ ボタン）を押して、TAD-D600 をスタンバイ状態にする。**
   電源部前面の POWER インジケーターが赤色に点灯します。
2. **本体前面の ⏏ OPEN/CLOSE ボタンを押しながら、本体前面の ⏻ ボタンを押す。**
   本体前面の ⏮ ボタンを押すと **ECO OFF**（自動的にオフしない設定）に切り換わります。**本体前面の ⏭ ボタン**を押すと **ECO ON**（省エネモード）に切り換わります。

SACD の出力レベルを抑えて聴く

SACD を再生し、出力が大きすぎて音声が歪む場合に、出力レベルを抑えて聴きやすくすることができます。お買い上げ時は、DSD 変調率 **50 %**（出力レベル大）に設定されています。

- **本体前面の ■ ボタンを押しながら、本体前面の ⏮ ボタンを押す。**

押すたびに **50 %**（出力レベル大）と **100 %**（出力レベル小）が切り換わります。

ハイサンプリングモードで出力する

デジタル音源のサンプリング周波数を 44.1 kHz に変換し、デジタル出力することができます。お買い上げ時は、アップコンバート機能により、**88.2 kHz** に設定されています。

- **■ ボタンを押しながら、⏭ ボタンを押す。**

押すたびに **44.1 kHz** と **88.2 kHz** が切り換わります。なお、SACD は、**44.1 kHz** に固定されています。

TAD-D600 を D/A コンバーターとして使う

- **ディスク停止中に本体前面の DAC ボタン（もしくは、リモコンの DAC MODE ボタン）を押す。**

押すたびに、**D 1 入力（XLR）**、**D 2 入力（同軸）**、**ディスク再生モード**が切り換わります。
入力信号を受信している時は **In**、受信していない時は**ーー**と表示されます。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら以下を調べてみてください。意外なミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気機器も、あわせてお調べください。
以下の項目を調べても直らない場合は、修理をご依頼ください。

症　状	原因と思われること	処　置
設定した内容が消えてしまった。	● TAD-D600 の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。 ● TAD-D600 の AC INLET から電源コードが外れている。	● 電源コードは、電源スイッチをオフにして、表示窓の表示が消えてから抜いてください。特に他機器の AC アウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して TAD-D600 の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをお勧めします。 ● AC INLET に電源コードをしっかりと接続する。
音が出ない。	● オーディオコードのプラグが十分差し込まれていますか？ ● 接続しているオーディオコードが断線していませんか？または汚れていませんか？ ● ディスクが汚れていませんか？ ● 一時停止をしていませんか？ ● 接続したアンプなどの音量が最小になっていませんか？	● オーディオコードをしっかりと接続する。 ● オーディオコードのプラグや TAD-D600 の音声出力端子、または接続したアンプなどの音声入力端子が汚れていたら、汚れを拭き取ってください。 ● ディスクを清掃してください。 ● 再生してください。 ● アンプに接続したときは入力切換、およびスピーカーの設定を確認してください。
音が歪んでしまう。	● アンプの PHONO 端子に接続していませんか？ ● SACD ディスクの記録レベルが規定より大きい。	● アンプの PHONO 端子には接続しないでください。 ● 16 ページの設定により、SACD の出力レベルを下げる。
SACD と CD で音量差を感じる。	● ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	● 本機の故障ではありません。
デジタル出力からデジタル録音ができない。	● 88.2 kHz 出力に設定されている場合は、レコーダーにより記録できないことがあります。 ● CD-R などのコピー制御が入っているディスクを再生している場合は、録音できないことがあります。	● 44.1 kHz 出力に切り換えます。 ● 録音することはできません。

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、パイオニア修理受付センターまたはお買い求めの販売店様にご相談ください。



音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

仕様

形式..........ディスクプレーヤー
電源 ....AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力 .... 32 W
（待機時）.......... 0.5 W
外形寸法（幅×高さ×奥行）：
　本体部 ....450 mm × 185 mm × 440 mm
　電源部 ....220 mm × 185 mm × 430 mm
質量：
　本体部 ....26.5 kg
　電源部 ....13.0 kg

アナログ音声出力 (2ch)

音声出力レベル（負荷抵抗 100 k Ω）：
　バランス出力..........450 mVrms（1 kHz、－ 20 dB）
　アンバランス出力..........220 mVrms（1 kHz、－ 20 dB）
　バランス出力..........XLR ステレオ 1 系統
　アンバランス出力..........RCA ステレオ 1 系統
出力端子 ....XLR ステレオ 1 系統
周波数特性（負荷抵抗 100 k Ω）：
　CD.......... 4 Hz ～ 20 kHz
　SACD.......... 4 Hz ～ 40 kHz
S/N 比：
　CD. .... 115 dB
　SACD.......... 110 dB
　デジタル入力（24 bit）.......... 115 dB

デジタル音声入出力

入力サンプリング周波数.......... 32 kHz ～ 192 kHz
バランス入力 ....XLR 端子 1 系統
同軸入力..........RCA 端子 1 系統
出力サンプリング周波数.......... 32 kHz ～ 96 kHz
バランス出力 ....XLR 端子 1 系統

付属品

リモコン..........1
単 4 形乾電池（IEC R03）..........2
DC コード..........2
電源コード..........1
ポリシングクロス..........1
フェルト..........2
オーナーズクラブ登録カード..........1
個人情報保護シール..........1
保証書..........1
取扱説明書（本書）

上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで、大切に保存してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の保有期間

弊社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。また、ご転居されたり、ご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、パイオニア修理受付センターにご相談ください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に取扱説明書の**「故障かな？と思ったら」（17 ページ）**の項目をご確認ください。それでも正常に動作しないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店へご依頼ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所：
- お名前：
- お電話番号：
- 製品名：ディスクプレーヤー
- 型番：TAD-D600
- お買い上げ日：
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）：
- 訪問ご希望日：
- ご自宅までの道順と目標（建物や公園など）：

■保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

パイオニアカスタマーサポートセンター　TAD相談窓口

受付時間		月曜～金曜 9:30～18:00 （土曜･日曜･祝日･パイオニアカスタマーサポートセンター休業日は除く）
電話	フリーコール	0120−995−823
ファックス		03−3490−5718

修理についてのご相談窓口

修理をご依頼される場合は、取扱説明書をご覧になり、故障かどうかご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

パイオニア修理受付センター

受付時間		月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 （日曜･祝日･パイオニア修理受付センター休業日は除く）	
電話	フリーコール	0120−5−81028	※ 携帯電話･PHSなどからは、ご使用になれません。
	一般電話	03−5496−2023	※ 携帯電話･PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。
ファックス	フリーコール	0120−5−81029	

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、取扱説明書など）のご購入について

パイオニア部品受注センター

受付時間		月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 （日曜･祝日･パイオニア部品受注センター休業日は除く）	
電話	フリーコール	0120−5−81095	※ 携帯電話･PHSなどからは、ご使用になれません。
	一般電話	0538−43−1161	※ 携帯電話･PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。
ファックス	フリーコール	0120−5−81096	

インターネットホームページ

本書以外に下記ホームページもご覧ください。
http://tad-labs.com/support/

平成21年10月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.035

PRINTED WITH SOY INK™
この取扱説明書の印刷には植物性大豆油インキを使用しています。

TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC.

株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ
〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-15-3
http://tad-labs.com

<SNSZF> <10I00001>
<CRA4315-B>
Printed in Japan